



2014 4
(平成26年)

さくら：消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています



団旗のもとに 災害に強いまちをめざして

▲新春恒例の消防出初式が須坂小学校グラウンドで盛大に開かれた。(1月12日)

団長就任挨拶



須坂市消防団長
なりた おさむ
成田 統

ような訓練も取り入れていきたいと思えます。地域の皆様にもご参加頂く場面もできますので是非とも宜しくお願ひいたします。

前依田団長には、三十一年の永きに渡り消防団活動にご尽力を賜り、特に三期六年は団長として、また公益財団法人長野県消防協会副会長、須高消防協会顧問として手腕を振るわれました。

今後は、消防団の一番の理解者としてご指導ご鞭撻をお願いするとともに、益々のご多幸ご活躍をお祈り申し上げます。

最後に団員全員のご協力に期待し、意は整いませんが就任の挨拶とさせていただきます。

四月一日より須坂市消防団長になりました成田統と申します。須坂市消防団の歴史と伝統を守り更なる発展をめざし、日頃から訓練を重ねて、消防団の崇高な使命目的の生命身体財産をあらゆる災害から守り安心安全の郷土を築く為に努力を重ねてまいります。市民の皆様には、ご支援ご協力を賜り消防団にご理解をお願い申し上げます。

過去当地域におきまして大雨による土石流が発生し、尊い命が犠牲になる甚大な被害がありました。自然災害に立ち向かうことは消防団にとっても大変な事です。

まず災害が起こる前に避難をすることが一番の対処だと考えます。防災に日頃から関心をもち、災害時に生かせる

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら『自分たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、『大切な家族や地域を守りたい』そんな思いで活動している人間の集まりです。

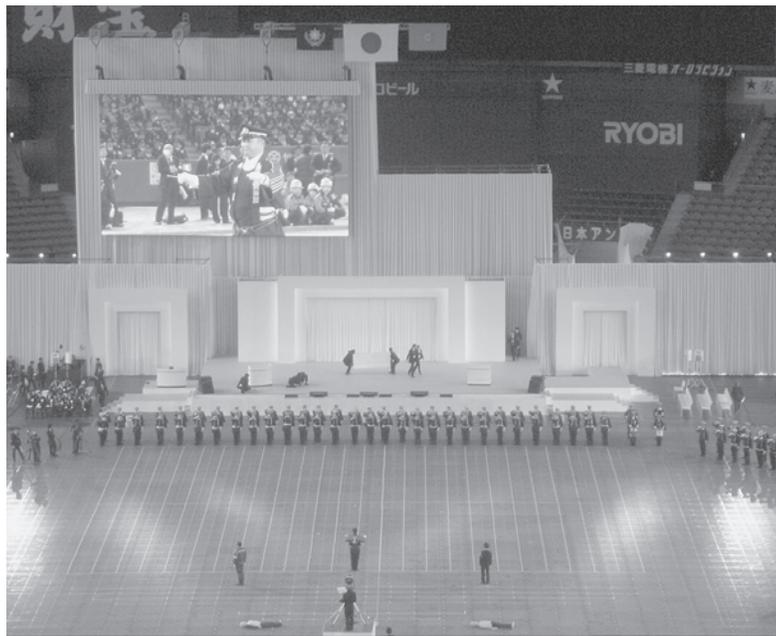
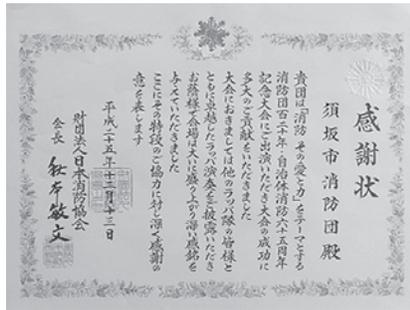
須坂市消防団長
成田 統

11月25日、東京ドームで消防団120年・自治体消防65周年記念大会が開催されました。全国から集まったラッパ手200名の中、長野県ラッパ隊80名、その中でも須坂市消防団ラッパ隊22名が全国消防団の中心となって吹奏技術を披露しました。

消防団120年・自治体消防65周年記念大会 (東京ドーム)で 須坂市ラッパ隊が吹奏を披露

出演者は次の通り

- 指揮者 波多大樹
- 吹奏者 豊田伸幸、宮崎忠男、森井徳一、高橋智将、湯本直樹、村清和、柳澤國勇、中村武久、敏行、板倉光昭、堀内正紀、小林正寿、篠塚剛志、山岸剛之、細山隼平、羽生田昌明、黒澤卓也
- 鼓 隊 小池彰、山岸雅哉、坂田祐美、神戸秀史



日本消防協会が10年に1度開催する記念式典に、ラッパ隊の吹奏機会を頂きました。



ラッパ長
波多大樹

長野県隊で

3回の訓練、前日リハーサルで200名の合同訓練、不安を残したまま本番に挑みました。吹奏後37,000人の観衆の、上から降ってくる様に聞こえてくる拍手の中、まさしく200名の気持ちがひとつになった瞬間。県民性や文化などの違いに戸惑った前日までの不安が、一瞬で吹き飛んだ瞬間でした。

ラッパを通じて全国に広がった友情の輪、先頭に立って全体を音で牽引してくれた須坂市消防団ラッパ隊。関係して頂いたすべての皆様心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

各分団の活動紹介

第11分団

私達、第11分団は豊丘上町、豊丘町、大日向町を管轄とし二部構成・六十三名で活動しています。少数ですが団員同士結束して地域の皆様と共に予消防に努めています。豊丘地区ふれあいまつりや、宅幼老所感謝祭等にポンプ操法・ラッパ吹奏を披露させて頂き、区民の皆様と繋がりを大切にしていきます。早朝訓練をしていけると近くの方より『頑張ってるね』の言葉を頂き、感謝と共に自分たちの町は自分たちで守るの消防精神を胸にこれからも努力して参ります。若い力が地域を守る。皆さんの力をお借りし一緒に活動して貰える団員を募集しています。やってみると案外楽しいですよ。

第11分団長 小林孝明

音楽隊

音楽隊は現在男性八名女性二十二名の計三十名で活動をしています。吹奏楽を通じて消防活動をした仲間が集まり主に演奏による予防・広報をしています。特色は幅広い年齢層と女性の多さです。十代、四十代と親子程の年齢差のある仲間が日々訓練に励んでいます。昨年は音楽の枠から飛出し軽可搬ポンプ操法にもチャレンジし消防団活動の奥深さを実感し、絆の強さを再確認しました。音楽隊は毎年『秋の火災予防週間』に合わせ定期演奏会を行う他、カッタカ祭りや催事等での演奏も行っていきますので希望の方はご相談ください。そして私達と一緒に音楽隊活動をして頂ける方の入団を随時募集しています。楽器を吹いた事のある人もない人も興味がありましたらお声かけください。

音楽隊長 小池彰



須坂市消防団管轄区域 第5分団 1部 高畑町、旭ヶ丘町、北旭ヶ丘町、松川町、光ヶ丘ニュータウン 2部 南小河原町、小河原町、新田町 3部 小島町、豊島町 4部 相之島町、北相之島町 第6分団 1部 高梨町、五閑町 2部 塩川町 3部 沼目町 4部 八重森町 5部 村山町 第7分団 1部 井上町 2部 福島町 3部 中島町 4部 九反田町 5部 幸高町 6部 米持町



▲信州須坂シティセールス事業 富山市で開催された『北陸新幹線途中下車キャンペーン』でラッパ吹奏を披露しました。(9月29日)



▲第19回全国女性消防団員活性化ぎふ大会に参加しました。(10月30日)



▲「ラッパパレード」全国秋季火災予防運動中に第8分団管内にて火災予防を呼びかけました。(11月3日)

写真で見る消防団活動 9月～3月



▲「建物火災防ぎょ訓練」消防署と合同でシティホテル サンシャインエイト様において訓練を行いました。(11月10日)



▲「歳末夜警」年末の火災・犯罪を防ぐため夜間警戒を行いました。(12月26日～30日)



▲「消防ポンプ説明会」業者様にポンプの操作・性能・手入れ方法を学びました。(2月8日)



▲近來稀にみる大雪の為、道路等の除雪を行いました。(2月16日)



▲「幹部研修会」消防団幹部としての心構え等を学びました。(2月21日)



▲「県政出前講座 災害クロスロード」大規模災害発生時の難しい判断が迫られる状況を体験・学習しました。(2月23日)



▲「遠距離中継送水訓練」春季全国火災予防運動期間中に百々川河川敷を利用して、ホースを約500m延長し、中継送水の訓練をしました。(3月2日)



▲「普通救命講習Ⅰ」応急手当普及員の指導で、心肺蘇生法・AEDの使い方学びました。(3月16日)

「火の用心」～いま一度見つめ直して～

平成25年の火災
31件(建物15件、車両3件、その他13件)
平成26年は?
6件(建物3件、その他3件) 3月31日現在
暖かくなり、乾燥と強風が重なり枯草火災の恐れが高くなってきます。農業におけるリングなどの剪定枝・稲わら・落ち葉枯草を燃やすときは事前に消防署への届け出が必要です。またその際には住宅に近いところは避け、時間や風向きに十分注意をお願いします。

平成26年度全国統一防火標語
「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」



九月二十日、五分団二部(新田町)にC1級可搬ポンプが配備されました。夜間でも的確な操作をするために操作部にLED照明とセルスタターを内蔵しています。また環境に配慮し排気ガスの削減・低騒音・低燃費のポンプとなっています。コンパクトで扱いやすく女性でもスムーズな持ち運びが可能です。

C1可搬ポンプ 五分団二部に配備

今後の主な活動予定

- 4月18日～22日 春の特別火災予防運動
- 4月20日 山林火災防ぎょ訓練(塩野町)
- 4月20日 春季ラッパパレード(仁礼町)
- 6月8日 消防技術大会(須坂小学校・常盤中学校グラウンド)
- 6月22日 須高消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会(小布施町・栗ガ丘小学校グラウンド)
- 7月27日 長野県消防ラッパ吹奏大会(大町市運動公園)
- 8月24日 須坂市総合防災訓練
- 9月21日 分団対抗ソフトボール大会



十一月十四日、十一分団二部(豊丘上町)において地上操作型半鐘叩き装置が配備されました。火の見やぐらに登らずに地上からワイヤーを引くだけで半鐘を撞く事ができるので冬季、強風、大雨時の操作の消防団員の安全確保が期待されます。今後、順次配備していく予定です。

地上操作型半鐘叩き装置 十一分団二部に配備

須坂市消防団管轄区域 第7分団 7部 二睦町 第8分団 1部 下八町 2部 上八町 3部 野辺町、望岳台 4部 村石町、明徳町 第9分団 1部 仁礼町(仙仁、瀬之脇、宇原、西原、浅間塚、福沢)、峰の原 2部 仁礼町(常盤、中村、新田) 3部 仁礼町(関谷、栃倉) 第10分団 1部 亀倉町、夏端町 2部 米子町 3部 塩野町 第11分団 1部 大日向町、豊丘町 2部 豊丘上町



消防団の大切さ



あいざわ ともこ
相沢 朝子さん
なる なおき
成美さん・直希くん

消防団の活動は結婚するまで身近なものではなく、初めはその活動の多さに戸惑うこともありました。しかし、出火の際に駆けつけていたり、消火栓の雪かきをする姿をみているうちに、地道な活動があつてこそ安全なのだと思ひ、改めて感じる事ができました。今では技術大会やパレードを子どもと一緒に見に行くことが楽しみの一つになりました。仕事との掛け持ちで大変ですが、これからは頑張るって欲しいと思います。

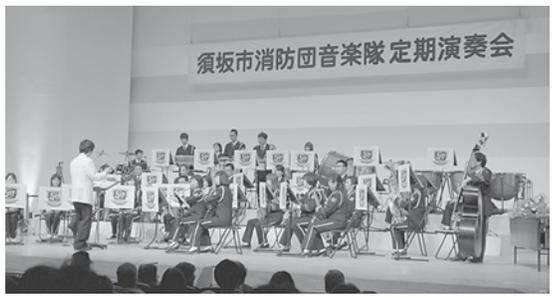


ほそやま なみ
細山 奈美さん

パパ、カッコいいね！

六月の大会での息子の一言。昨年、分団のラップ長に任命された主人はラップ吹奏で指揮をふりました。大きな声での報告や機敏な動きは、家では見せたことのない姿。息子も私も感動したのです。会議、訓練、大会、警戒など平日夜も休日も忙しい消防団の活動。二才、四才と小さい子どももいるので日曜は家にいてほしいなと思うことも正直あります。しかしこんな忙しさでいつもお疲れ気味の主人ですが、疲れの中にも達成感や充実感が感じられます。地域を守り、仲間とのつながりや家族を大切に思う消防団。一家族としてこれからも支え、応援していきたいと思ひます。がんばれ！そしていつもありがと。

音楽隊 定期演奏会 御礼



チャリティーコンサートとして昨年11月に開催した音楽隊の定期演奏会には、たくさんの皆様にお越しをいただき、誠にありがとうございました。



おかげさまで19万円余りのご芳志をいただき、須坂市社会福祉協議会を通じ、各福祉施設へ贈呈させていただくことができました。今年も皆様に楽しんでいただけるよう毎週訓練に励んでいます。今年30回記念として11月9日(日)に開催致します。大勢の皆様のお越しを心よりお待ちしております。

本業を持ちながらの消防団活動



第2分団 1部
班長 やました 徹也
山下

消防団に入団のメリット

30歳を過ぎての遅い入団でしたが、分団長はじめ団員の皆様に支えられ入団4年目を迎えました。自営業を営んでいますが消防団の仲間と接する中で店の存在を知って頂き利用していただく機会も増えました。また異業種の方と接する事で視野が広がり刺激を受け、自分の仕事にフィードバックできています。今後も消防団活動で得た知識と技術を生かし仕事とは違った角度から社会貢献できればと考えています。



▲中町で調剤薬局をしています。お気軽にお立ち寄りください。

編集後記

須坂市消防団長 成田 統

編集委員長(分団長会長) 小山 淳(第二分団長)

東日本大震災から早くも三年が過ぎました。多くの尊い命が奪われた大震災。そして我々と同じ消防団員も住民への避難誘導中に津波により多数の犠牲となりました。同じ消防団員として彼らの無念さは計り知れません。彼らの事を無駄にしてはならない。そんな事を思いながら須坂市消防団はこれからも前進して参ります。

【編集委員】

- 副団長 田中敏彦
- 副団長 中村大樹
- 副団長 波多嘉彰
- 副団長 小池和嘉
- 副団長 原山淳
- 副団長 小塩智一
- 副団長 塩崎智一
- 副団長 加藤智一
- 副団長 竹内智一
- 副団長 中島貴洋
- 副団長 駒木淳一郎
- 副団長 小林正也
- 副団長 中山均也
- 副団長 寺島孝明
- 副団長 第11分団長
- 副団長 第10分団長
- 副団長 第9分団長
- 副団長 第8分団長
- 副団長 第7分団長
- 副団長 第6分団長
- 副団長 第5分団長
- 副団長 第4分団長
- 副団長 第3分団長
- 副団長 第2分団長
- 副団長 第1分団長
- 音楽隊長 小波多嘉彰
- 副隊長 中村大樹
- 副隊長 波多嘉彰
- 副隊長 小池和嘉
- 副隊長 原山淳
- 副隊長 小塩智一
- 副隊長 塩崎智一
- 副隊長 加藤智一
- 副隊長 竹内智一
- 副隊長 中島貴洋
- 副隊長 駒木淳一郎
- 副隊長 小林正也
- 副隊長 中山均也
- 副隊長 寺島孝明